

## 第3回 春日井市都市景観賞表彰作品

1 深見医院

2 JR春日井駅北口自転車等駐車場

3 片桐邸





都市景観賞

# 深見医院

所在地 春日井市高藏寺町北2丁目  
 所有者 深見弥典・深見泰正  
 設計者 株式会社C&C設計  
 施工者 オオタ建設株式会社



主要用途 医院併用住宅  
 規模 地上2階建  
 構造 鉄筋コンクリート造  
 完成時期 2001年11月



昨今の新築された医科・歯科診療所の建築には、思わず目を覆いたくなるものが多い。街並みや景観に対する配慮や調和など考えもしなかったと言わんばかりに、その建築の存在のみを主張しようとするデザインのもの乱立している。しかし、そういう中であってこの作品は好感が持てる。角地に建つこの建築は、コンクリートの打ち放しが清潔で洗練されたイメージを演出しているし、個性的でありながらも過度な自己主張を感じさせないところが良い。また歩道に面して置かれたベンチ、植栽が穏やかな雰囲気周辺に与えて

いる。この外観が美しく保たれることを期待するところである。

歴史の新しいまちであっても、美しく統一性のある街並みを形成していこうとする意志は、建築家にも施主にも必要なものであり、責任でもある。深見医院が今回受賞した理由と意味は、建築が単体としての自己主張よりも街並みを形成する一要素として、いかにあるべきかを問うきっかけとなることを期待するところもあると理解してほしい。

(水尾衣里)



# JR春日井駅北口自転車等駐車場

所在地 春日井市割塚町226  
 所有者 財団法人自転車駐車場整備センター  
 設計者 株式会社くずは新建築研究所  
 施工者 鉄建建設株式会社名古屋支店



主要用途 自転車等駐車場  
 規模 地上2階建、地下1階  
 構造 鉄骨造一部  
 鉄筋コンクリート造  
 建築面積 1,337.74㎡  
 延床面積 3,692.97㎡  
 完成時期 2001年9月



第2回のザ・モール春日井の講評にも書いた覚えがあるのだが、まちの景観は超一級の建築のみでつくられていない。然るべき場所に然るべき建築物や緑やモニュメント等が、然るべき姿かたちでそこに在ることが、街並みの景観として望ましい姿ではないだろうか。この春日井駅前駐輪場はそのような建築物のひとつではないか、というのが受賞に至った理由である。

以前は、一般的に駅前といえば、そのまちの賑わいの中心であり、その景観は即ちまちの顔であった。しかし昨今では、車社会の波にもまれ、ロータリーやバ

ス・タクシー乗降場など車を捌く工夫はなされているものの、多くの駅前景観は昔日の「駅前らしさ」を失い、何か雑然とし索漠とした感じを与えているものになっている。加えて、押し寄せる自転車の群。

この駐輪場は、かつての露天駐輪場の場所に上屋を建てたもので、超一級の建築とは言えないものの、単に自転車を収容する「施設」でなく、駅前景観を意識し、配慮がなされているということが評価された。

(曾田忠宏)



都市景観賞

# 片桐邸

所在地 春日井市藤山台10丁目  
 所有者 片桐功雄  
 設計者 Liv設計工房  
 施工者 誠和建設株式会社



主要用途 専用住宅  
 規模 地上2階建  
 構造 木造  
 建築面積 134.89㎡  
 延床面積 214.99㎡  
 完成時期 2002年5月



約1年半前に建築された住宅である。今回も住宅の応募作品が十数点あり、いずれも選考委員を悩ませる優秀な作品が多かった中で、都市景観という観点から見ると最後まで私たちの印象に残った物件である。

最近の住宅建築を見ると、急勾配の屋根、あるいは原色まがいの塗装で外壁を仕上げた建物を目にする。確かによく目立つには違いないが、街並みとの調和はどうであろうかと考えさせられる。

当住宅は、高蔵寺ニュータウン初期の分譲地において建て替えられたもので、都市の景観にマッチした建物ではないでしょうか。外観を見ると建物右の2階部

分は、最近見かける丸みを帯びた片流れ屋根でソフトな感じを受ける。正面アプローチ部分には、回廊を思わせる片流れ屋根の下に柱が並んでいる。この回廊を通して玄関に向かうのであろう。ガラス窓の向こうからにぎやかな家族の笑い声が聞こえてきそうな気がする。外壁に目をやれば石目調で色目もシックにまとめられてあり、飽きのこない仕上がりとなっている。また、ワンポイント的に細かい所にも気遣いが見られ、発注者の意図と施工者の技が十分に通った都市景観にふさわしい作品だと思います。(中栗 峰生)

## 募集

都市景観賞は、私たちが愛着を持ち誇りうるまちづくりに貢献する優れた建築物や活動などを表彰するものです。

### 推薦・応募対象

春日井市内にあり、優れた景観づくりに貢献するすべてのものを対象とします。

例えば、次のようなものが考えられます。

- 個人住宅、共同住宅、事務所、学校などの建築物とその門、塀や壁など
- 橋、道路、鉄道、高架物、塔などの工作物
- 店舗、ショールーム、ショッピングモール、アーケード、ショーウィンドー、屋外広告物など
- 公園、緑地、ポケットパーク、緑道、散歩道など
- 案内サイン、停留所、街路灯、ベンチなどのストリートファニチャー、パブリックアート、壁画など
- 建築物などの外観をリフレッシュしたもの、良好な維持管理がなされているもの
- 夜間のライトアップによる演出
- まちづくり協定などにより計画的に形成されたまちなみ、景観づくりに関するイベント、運動など
- 景観形成につながる文化活動、研究活動など

**募集期間** 平成15年7月1日（火）～7月31日（木）

<b>募集結果</b>	推薦・応募総数	75件
	応募物件数	70件
	【内訳】	
	建築物（一般）	40件
	建築物（住宅）	12件
	建築物（外溝）	3件
	工作物	5件
	街路・街並み	7件
	自然・公園	2件
	活動	1件



## 選考委員

- ◎石黒 鏘二 名古屋造形芸術大学学長、彫刻家
- 塩見 弘幸 中部大学教授
- 曾田 忠宏 愛知工業大学教授
- 中栗 峰生 愛知建築士会春日井支部長
- 水尾 衣里 名城大学助教授
- 吉田しづ代 愛知建築士会春日井支部常議員

〔◎印は選考委員長／50音順／敬称略〕



## 選考基準

- 1 周辺景観との調和について評価する。
  - まちなみへの配慮がなされているもの
  - 緑化への努力、自然の風土や地形との調和が優れているもの
  - 歴史的、伝統的な周辺のまちなみとの調和が優れているもの
- 2 地域社会への配慮について評価する。
  - オープンスペースが有効に活用されているもの
  - その地域の文化性を高めているもの
- 3 単体としてのデザインを評価する。
  - 意匠、形態、色彩及び材料が優れているもの
  - 優れたデザインで地域の景観をリードしているもの
- 4 まちなみとしてのデザインを評価する。
  - 住民の創意工夫により、優れた都市景観が創出されているもの
  - 今後のまちづくりのモデルになるもの
  - 総合的な計画により魅力的な都市空間が創出されているもの
- 5 その他この賞の主旨にそって評価する。
  - 様々なイベント、運動により、優れた都市景観の形成に貢献するもの

## 選考経過

平成15年9月3日（水）

第3回都市景観賞選考委員会一次選考  
書類選考により10件を選出

平成15年10月1日（水）

第3回都市景観賞選考委員会二次選考  
一次選考で選出した10件について現地調査を実施  
都市景観賞3件を選考

平成15年11月21日（金）

第3回都市景観賞表彰式・記念講演

表 彰 式	受賞作品の所有者、設計者、施工者を表彰
記 念 講 演	講師 瀬口 哲夫氏（名古屋市立大学大学院教授） 演題 「これからの景観づくり」